

令和3年度 第3回理事会議事録

1. 開催日時及び場所

(1)開催日時 令和4年3月14日(月) 14時00分～15時30分

(2)開催場所 遠藤専務理事自宅

(3)開催形式 web会議システム「Zoom」による開催

<https://us06web.zoom.us/j/82066784416?pwd=bUNJdVp5SmgxREVVKRVU3azgrTjRDZz09>
ミーティングID: 820 6678 4416

パスコード: 748436 (今回1度きりのパスワード)

議長代理の遠藤専務理事は開催場所から出席し、当該開催場所に存しない理事及び監事は各自の居場所から上記の web 会議システムにより出席した。

なお、事務局の小定弘和、安田みお は、財団事務所より理事会に参加した。

2. 理事数及び出欠理事数

(1)理事数 10人

(2)出席理事数 9人

(3)欠席理事数 1人

3. 出欠理事の氏名

出席者:遠藤守、稲田伊彦、麻生茂、上垣内茂樹、高田正隆、虎野吉彦、中澤孝、藤島豊久、室山哲也

欠席者:山崎直子

4. 出席監事の氏名

棚橋秀行、富田力夫

5. 事務局の氏名

小定弘和、安田みお(議事録作成)

6. 審議事項

第1号議案 令和4年度事業計画書(案)及び令和4年度収支計画書(案)について

第2号議案 経理規定の改定(案)について

第3号議案 2022年度からのYAC活動委員会のミッション案及び担当・必要経費・必要経費の原資表について

7. 報告事項

(1)令和3年度子どもゆめ基金(子ども向け教材開発・普及活動助成)

「種子島宇宙センター大型ロケット射場をジオラマで詳しく学ぼう!」について

8. 議事の経過及びその結果

事務局小定が zoom ホストとして、web会議システムにアクセスする出席者全員を受入れ、一人ひとりに、音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、相互に十分な議論を行うことができる環境であることを確認した。

(1) 理事会開会宣言

遠藤専務理事より、山崎理事長の欠席を受け、理事会運営規則第6条に基づき、議長代行として議長を務める旨の説明を行い、理事会開会を宣した。

(2) 出席者と定足数の報告

遠藤専務理事より、定款第34条に規定する定足数を満たしており、本理事会が成立している旨を報告した。

(3) 令和3年度第2回理事会議事録確認

遠藤専務理事より、令和3年度第2回理事会議事録について確認したところ、特に意見等なく承認された。

(4) 審議事項

【第1号議案】 令和4年度事業計画書(案)及び令和4年度収支計画書(案)について

事務局 小定より、資料No.1 令和4年度事業計画書(案)について説明を行った。

続いて、事務局安田より、資料No.1 令和4年度収支計画書(案)について説明を行った。

遠藤専務理事より、第1号議案について意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

虎野理事より、今年度で賛助会を脱退する会社の理由について、質問があった。

事務局安田より、会社も厳しい折、社内で検討した結果と聞いている旨、説明を行った。

棚橋監事より、毎年同じ意見になるが、賞与について、予算 20 万円という金額が妥当であるかどうか、決算見込みが約 35 万円プラスになる見込みとすれば、賞与の金額も予算上もう少しプラスしてもよいのではないか、との意見があった。

遠藤専務理事より、監事からのご指摘を踏まえ、来年度の資金繰りも厳しい状況が続いているため、本日も説明の計画はひとまずこの内容でご了解いただき、ご指摘のところは、今年度決算で余剰金が出た場合は、賞与に振り分けるという処置を理事の皆様にも了解いただけるのであればそのようにさせていただきたい。また、来年度についてもできるだけ節約に努め、極力余剰金の範囲内で賞与を増やしていく努力をしていきたい旨、説明を行い、出席理事及び監事の了解を得た。

その他、意見を求めたところ、室山理事より、任天堂「あつまれどうぶつの森」のようにメタバース内に宇宙をテーマとする仮想空間をつくり、宇宙飛行士に会えたり、ISS 探検だったり、みんなで旅するような疑似体験ができれば、宇宙少年団の活動に実際行けなくてもバーチャルの世界で集まり交流することができる。VR の専用ゴーグルも必要になるが、最近ではハコスコという段ボール式の VR にスマホを入れればそのような体験もできると聞いたことがある。これも一つのアイデアとして参考にしてもらいたい旨、意見があった。

遠藤専務理事より、JAXA もこのような取り組みはしていると思うが、メタバース的な取り組みに近い事例があれば、事務局より紹介いただきたい旨、発言があった。

事務局小定より、宇宙少年団の活動では、このような新しい技術を取り入れた活動事例はなく、宇宙少年団の全国大会(宇宙子どもワークショップ in きもつき)のプログラムの一つとして実施いただいたことがあるが、メタバースのようなことはできておらず、今後最新の科学技術を取り入れていく方法も勉強していきたいと思っていたところである。最近実施しているのは、JAXA 筑波宇宙センターのスペースドーム内を撮影し、zoom を使って映像を観ながら上垣内理事に解説いただくバーチャルツアーを行い、現地に行けなくても見学しているような体験イベントを実施した。このような手法で筑波以外の JAXA 展示館施設もできないか、というアイデアもいただいているところである旨、説明をおこなった。

遠藤専務理事より、第1号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

【第2号議案】 経理規定の改定(案)について

続いて、事務局 安田より、資料No. 2に基づき、経理規定の改定(案)について説明を行った。

棚橋監事より、公益財団法人の略称について、株式会社の名称を(株)と省略せず株式会社と記載するよう指導を受けたことがある経験から、税務署に確認してみてもどうか、との意見があった。

事務局安田より、今回申請したゆめ基金助成では、公益財団の略称は規定に定めのない領収書は認められないという決まりから、経理規定に略称も使用できるようにしたいというのが趣旨であるが、公的な書類の略称使用については確認する旨、説明を行った。

虎野理事より、ゆめ基金では規定に定めがなければ略称は認められないということは理解したが、税務署への提出書類は略称していないならば、それほど量の量でなければ略称せず公益財団法人と記載すれば、規定を変える必要はないのではないか、との意見があった。

事務局安田より、ゆめ基金に限らず、領収書等処理する中で略称記載は日常的に使っていることもあり、公的な書類以外で略称使用の可能なものは今後も使用していければと思う旨、説明を行った。

遠藤専務理事より、公益財団法人の略称使用については税務署に確認してもらい、規定にはできるとする変更自体はいいのではないかと思う旨、発言があった。

稲田理事より、過去に内閣府公益認定委員会の監査があり、証拠書類を見てもらった時には略称についての指摘はなかった旨、発言があった。

遠藤専務理事より、税務署に確認することを前提に、第2号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

【第3号議案】 2022 年度からの YAC 活動委員会のミッション案及び担当・必要経費・必要経費の原資表について

麻生理事より、資料No.3に基づき、この時期の提案として、4月1日から活動を始めるためにも本理事会で活動委員会の活動計画を提案させていただいた。活動計画の 1 から12までの項目を実施するにあたり、活動委員の任期が今月31日で切れるため、現在の活動委員と活動委員の人員2名の若手を増員したい。また、女性の候補者2名も現在人選中であり、本人達の了解が得られれば次回理事会でお諮りしたい旨、説明を行った。

遠藤専務理事より、第3号議案について意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

室山理事より、ご説明いただいた内容はとても夢がある活動をされていることが伝わってくる。好奇心や冒険心、地球や生命に繋がる活動が宇宙少年団のコンセプトに繋がる活動をされているのだと思うが、活動全体が一つのコンセプトに繋がると一つひとつの意味合いがしっかり位置付けられると思う。それが何か他の重要なコンセプトにも繋がっている活動を行っていることを示すことで寄附等お願いしやすいのではないか。例えば SDGsの 17 項目に対しての関連性を、資料中の柱建てした項目が整理できると良いと思う旨、意見があった。

遠藤専務理事より、第3号議案について、ミッション案並びに委員の任命について諮ったところ、全員一致で了承された。

(5) 報告事項

令和3年度子どもゆめ基金(子ども向け教材開発・普及活動助成)「種子島宇宙センター大型ロケット射場をジオラマで詳しく学ぼう!」について

事務局安田より、資料No.4の令和3年度子どもゆめ基金(子ども向け教材開発・普及活動助成)「種子島宇宙センター大型ロケット射場をジオラマで詳しく学ぼう!」の子ども向けコンテンツが完成し、そのコンテンツ全体の概要説明と報告書を提出し現在チェックを受けているところである旨、報告を行った。

(6) その他

遠藤専務理事より、6月の令和4年度第1回理事会開催の日程について、2案候補日を提示し、出席理事、監事の予定を確認した。結果、次回理事会は、令和4年6月6日(月)午後から行うことで出席理事、監事全員一致で了承された。

遠藤専務理事より、理事の任期が令和4年6月定時評議員会の日をもって任期満了となる旨、説明を行い、手続きに関する連絡は、後日事務局からすることで確認を行った。

(8) 参考資料

事務局 小定より、参考資料No.1に基づき、団員推移表について説明を行った。

遠藤専務理事より、今後は、団員推移表の内訳に男女の割合も追加してはどうか、との意見があった。

事務局小定より、次回から男女割合も記載する資料にする旨、説明を行った。

遠藤理事より、以上をもって全議案審議を終えたことを述べ、閉会を宣して令和3年度第3理事会は15時30分に閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、議長代理並びに出席した監事は記名押印する。

以上

令和 4年 3月 14日

(議長代理)
専務理事 遠藤 守 (押印済)

監 事 棚橋 秀行 (押印済)

監 事 富田 力夫 (押印済)